

令和6年度 第1回 鳥取市男女共同参画審議会 議事概要

1. 開催日時 令和6年7月12日（金） 午後1時30分から午後3時00分
2. 開催場所 鳥取市役所 本庁舎6階 6-7会議室
3. 出席委員 徳田 純子（会長）、福田 克彦（副会長）、
山崎久美子、浅井 寛恵、清水 愛結、嶋田 耕一、山本 暁子、水田 憲夫、
前田由美子、安達 由紀、岡田 節子、澤田 稔、森田 将悟、眞木 真理

4. 議事要旨

- (1) 「第4次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」の令和5年度の実施状況について
- (2) 男女共同参画・女性活躍推進に関する令和6年度の取組について
- (3) 男女共同参画に関する意識調査について
- (4) その他

5. 主な意見

(1) 「第4次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」の令和5年度の実施状況について

- ・おおむね順調のようだが、数値目標の数値だけでなく取組の内容が重要と考える。
- ・引き続き数値を上げることは重要だが、質を上げるのも大事。男女共同参画課センター参加人数を目標にしていることについて、多くの方に男女共同参画を知ってもらう目的なら、新規参加者の割合を増やすことが重要になる。かがやき企業認定数は増やすことを目的にせず、様々な業種を増やすなどが必要。審議会委員の女性登用は声掛けが必要。豊岡市が4割を達成している。
- ・具体的に何をやったか、詳しく聞けたらよかった。
- ・防災会議とはどんなものか？女性の視点を取り入れられるとよい。

【事務局：委員構成と条例に基づく位置づけ、所掌事務を説明】

- ・防災には女性の視点だけでなく、障がい者や高齢者など、いろいろな視点を盛り込んでほしい。

(2) 男女共同参画・女性活躍推進に関する令和6年度の取組について

- ・女性デジタル人材育成事業は高く評価したい。受講後はどうされているか受講後の様子を聞いてみたい。
- ・経済雇用部局の男女共同参画に関する取組を聞きたい。

【事務局：女性参画を意識した取組はしていない、すべての方を対象とした雇用対策を推進している。就労のためデジタル技術を身につけた人への企業支援策は設けている。また、鳥取労働局と連携し、社会に出ていない方を対象とし、保育園申込スケジュールや働くうえで知っておきたいことを学ぶ「マザーズセミナー」を実施、令和5年度は10名の参加があった等説明】

- ・コロナ禍により、解雇や離職も多いと思うので取組を進めてほしい。

(3) 男女共同参画に関する意識調査について

- ・経年変化をみるほかに、男女共同参画の視点も必要。いくつか提案あり。
 - 家庭での役割について問う質問、範囲が広い。育児と教育を分けてはどうか。
 - 結婚について問う質問、離婚理由に「相手に満足できないとき」に限定する理由はない。
 - 相手には満足、でも他に何かの理由で ということもありうるため。
 - 地域活動を問う質問、回答に自主防災、消防団活動があってもよい。
- ・家事や育児等をしている時間について、誰がどのくらいされているか聞いてみるのもよい。時間ではなく割合など。

(4) その他（自由意見）

- ・女性消防団での活動は、幅広い地域から集まって活動している。火災現場に出動するのではなく、救命講習（赤ちゃんの蘇生）、小学生向けの防災意識を高める学習、避難所運営について、女性の視点で考えたりしている。女性の視点での意見は大きい。
- ・最近、地域で若年層とふれあうことがあった。男子学生が家事は手伝うものでなく、家庭内の役割分担として考えているようで意識が高まっていると感じた。
- ・小学生のための人権研修で、消防士に講師をお願いした。「女性消防士」ということは言わないでいて、講師が登場すると、子どもたちはとてもびっくりした様子だった。消防士は男性の仕事と潜在的に思っていた様子だったが、女性でもできることがある、好きなことに挑戦できる等、子どもたちは刺激をうけていた。
- ・性別により将来の仕事を潜在的に選んでしまっているのではないか。
- ・児童クラブや子ども食堂で子どもたちと触れ合う中で、考えを変えていくのは難しいと感じる。昔や今のことを話して、変わってきていることも伝えていくことが大事。年齢の近い若年層が伝えていくのも大事。
- ・企業認定も企業訪問も数が少ない。女性優位なこともあると思うが、積極的に商工会議所を活用するなどして、企業での取組をもっと活発にしていくことが大事。
- ・地域や自治会での活動が全体的に縮小傾向にある。地域でつながる活動が必要と思う。
- ・防災リーダー、女性 56 人となっているが全体数はいくらか。

【事務局：リーダー数全体 724 名、うち女性が 56 人】